

授業概要

本講義では、なぜ私たちの暮らしにとって経済政策が必要なのかを問う基礎的学習からはじめます。政府は市場の失敗から国民を守るセイフティーネットとして様々な経済政策をおこないます。特に第二次世界大戦後の日本の経済政策は世界経済の影響を多く受けており、経済政策の理論だけではなく、「世界中の日本」という視点から学ぶことが必要です。具体的には高度成長期の所得分配政策や、マクロ的な財政政策、金融政策などをその時代背景とともに理解します。市場原理の限界と経済政策を経済学と政策科学という二つの領域から理解する講義です。

授業計画

第 1 回	経済政策とは何か(ガイダンス)
第 2 回	経済政策の目的を学ぶ
第 3 回	市場原理と経済政策
第 4 回	市場の失敗と経済政策
第 5 回	所得再分配機能としての経済政策
第 6 回	安定化政策
第 7 回	経済政策における将来世代への配慮について
第 8 回	第二次世界大戦後の世界経済—ブレトンウッズ体制
第 9 回	第二次世界大戦後の世界経済—ニクソン・ショック後
第 10 回	戦後日本の経済政策—戦後復興
第 11 回	戦後日本の経済政策—高度成長期
第 12 回	戦後日本の経済政策—バブル経済と崩壊
第 13 回	国際化への道のり—日本版金融ビッグバンとは
第 14 回	現代の経済政策(財政政策・金融政策・構造改革)
第 15 回	まとめ
第 16 回	試験

到達目標

市場経済の発展と経済政策との関係を理解する。社会政策と経済政策の違いを理解する。

履修上の注意

配布プリントを活用してノートをとること(ノートの取り方は最初に説明します)。必要と思われるときに確認ペーパーを実施する。

予習・復習

ノート(プリント)を利用して復習すること。

評価方法

確認ペーパーなど(20%) 期末試験(80%)

テキスト

使用しない。参考文献は適宜指示する。